

◆福生市環境基本計画実行計画

基本目標実現に向けた取組

1章 自然の保全・再生

1節 自然の水循環、多摩川の保全・再生

《新規》=新規事業

 =市民事業

施策名	取組の方向	頁	担当課	21年度の取組			計画
				内容	具体的な取組状況	決算額(円)	22年度
1.自然の水環境、多摩川の水質・水量の改善	(1)河川水質調査の実施	19	環境課	多摩川及び都市下水路で定期的な測定調査分析を実施(年8回、7箇所)	多摩川及び都市下水路で定期的な測定調査分析を実施(年8回7箇所)	各種分析委託料2,097,900	多摩川及び都市下水路で定期的な測定調査分析を実施(年8回、7箇所)
	(2)流域下水道等の整備促進	19	施設課	多摩川流域下水道計画に基づき、下水道の整備を関係都市町と取り組む。	年2回(5・12月)流域下水道本部で会議を行った。		多摩川流域下水道計画に基づき、下水道の整備を関係都市町と取り組む。
	(3)水質汚濁防止の啓発	19	施設課	下水道の使用方法的啓発	年2回広報に掲載して周知した。		下水道の使用方法的啓発
	(4)河川維持水量の確保	19	施設課	多摩川河床掘下げ、水量の確保を国土交通省河川事務所に要請	関係会議等の際に、継続的に要請した。		多摩川河床掘下げ、水量の確保を国土交通省河川事務所に要請
	(5)湧水地点の保護	19	環境課	湧水調査報告書の頒布。保全計画検討	○湧水調査報告書の頒布(2冊) ○保全計画検討(湧水探検隊会議において、看板設置やフェンスの解放などの方法を検討)	調査報告書頒布代(歳入)540(270×2冊)	湧水調査報告書の頒布。保全計画検討
	(6)地下水脈の保全	19	環境課	保全計画検討(市主体では特になし)	保全計画検討(東京都が実施している検討会「水流実態解明プロジェクト」において共同検討)		保全計画検討(市主体では特になし)
	(7)深層地下水の保全	20	環境課	都環境確保条例に基づく揚水量の報告時に適正利用を依頼	15事業者に対し適正利用を指導した。		都環境確保条例に基づく揚水量の報告時に適正利用を依頼
	(8)雨水地下浸透施策の推進(地下水のかん養)	20	施設課	○浸透性舗装の拡大 ○一般宅地での雨水浸透ますの設置助成の実施	○私道整備4工事で実施した。 ○7箇所36個について設置助成を行った。	○浸透性舗装工事3,124,000 ○雨水浸透ます設置助成金790,000	○浸透性舗装の拡大 ○一般宅地での雨水浸透ますの設置助成の実施
	(9)雨水の一時貯留、利用の推進	20	施設課	福生市雨水貯留槽設置助成金交付要綱策定	平成22年度から福生市雨水貯留槽設置助成金交付要綱施行予定		福生市雨水貯留槽設置助成金交付要綱施行
		20	契約管財課	貯留した雨水をトイレの洗浄水と丘の広場の灌水に利用	雨水使用量776m ³ /年		貯留した雨水をトイレの洗浄水と丘の広場の灌水に利用
	(10)水循環の学習促進	20	環境課	湧水探検隊による学習	湧水探検隊の実施(全2回)		湧水探検隊による学習
	(1)多摩川流域一斉水質調査への参加	20	環境課	全国一斉身近な川の調査を実施	環境フェスティバル実施日に、多摩川流域一斉水質調査を実施(1回)		全国一斉身近な川の調査を実施
	(2)湧水調査の実施	20	環境課	市民との協働による調査	湧水名称付けのための聞き取り調査を実施		市民との協働による調査
(3)雨水利用研究の実施	20	施設課	近年、雨水貯留槽の設置が進んでいる。	平成22年度から福生市雨水貯留槽設置助成金交付要綱施行予定		《新規》福生市雨水貯留槽設置助成事業の実施	
(4)雨水地下浸透型宅地、駐車場の普及	20	まちづくり計画課	宅地開発に関するものは地下浸透型宅地としている。	宅地開発等審査会において指導		宅地開発に関するものは地下浸透型宅地とする。	
2.多摩川の防災、河川生態系の保全	(1)水害予防対策	21	安全安心まちづくり課	地域防災計画修正予定	福生市地域防災計画の修正を行った。	3,193,155	《新規》地域防災計画修正版に基づく水害予防
	(2)河川防災施設の整備	21	まちづくり計画課	国土交通省へ要請	南公園の整備を国土交通省と調整中		国土交通省へ要請
	(3)防災意識の高揚	21	安全安心まちづくり課	福生市消防団、福生消防署他関係機関と合同で水防訓練の実施	福生市消防団・福生消防署・自主防災組織らとともに、合同水防訓練を実施した。	465,191	防災マップ及びHPで防災情報等を提供し、意識の高揚に務める。
	(4)歴史的河川土木施設の保全	21	生涯学習推進課	文化財保護の観点から、新資料の収集	新資料の調査		文化財保護の観点から、新資料の収集
	(5)川の自然観察会、植生管理等の促進	21	環境課	環境フェスティバル、水辺の楽校「多摩川の達人になろう」講座で実施	○環境フェスティバルにおけるイベントとしても実施 ○水辺の楽校「多摩川の達人になろう」講座開催(全4回)	○環境フェスティバル委託料1,100,000 ○水辺の楽校運営委託料1,400,000	環境フェスティバル、水辺の楽校「多摩川の達人になろう」講座で実施
	(6)学習活動支援体制の整備	22	環境課	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」、「多摩川の達人になろう」講座、川の志民館の管理運営	○福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」(全12回) ○「多摩川の達人になろう」講座(全4回) ○川の志民館の管理運営	○環境フェスティバル委託料1,100,000(再掲) ○水辺の楽校運営委託料1,400,000(再掲)	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」、「多摩川の達人になろう」講座、川の志民館の管理運営
	(7)生物調査の実施	22	生涯学習推進課	終了(次期取り組みについては、環境基本計画改定時に再検討)	終了(次期取り組みについては、環境基本計画改定時に再検討)		終了(次期取り組みについては、環境基本計画改定時に再検討)

施策名	取組の方向	頁	担当課	21年度の取組			計画
				内容	具体的な取組状況	決算額(円)	22年度
2.多摩川の防災、河川生態系の保全	(1)治水史の研究	22	生涯学習推進課	『新多摩川誌』(国土交通省:企画、発行:財団法人河川環境管理財団 全7冊)で詳述のため、当分の間、実施する予定はない。	『新多摩川誌』(国土交通省:企画、発行:財団法人河川環境管理財団 全7冊)で詳述のため、当分の間、実施する予定はない。	0	『新多摩川誌』(国土交通省:企画、発行:財団法人河川環境管理財団 全7冊)で詳述のため、当分の間、実施する予定はない。
	(2)生態系調査・自然観察の展開	22	環境課	水辺の楽校運営協議会が「多摩川の達人になろう」講座を実施する中で調査等を行った。市、国土交通省が支援	「多摩川の達人になろう」講座(全4回)…多摩川の源流や河口などで、野鳥観察や干潟観察を実施	0	水辺の楽校運営協議会が「多摩川の達人になろう」講座を実施する中で調査等を行う。市、国土交通省が支援
	(3)学習支援体制の強化	22	環境課	水辺の楽校運営協議会が学校での学習を支援した。市、国土交通省が支援	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」(全12回)	〇水辺の楽校運営委託料1,400,000(再掲)	水辺の楽校運営協議会が学校での学習を支援。市、国土交通省が支援
	(4)河川清掃や植生管理の展開	22	施設課	ふっさ環境フェスティバルの中で、市民ボランティアにより、多摩川中央公園及び付近の河川清掃を実施。参加人数約92人	6月7日(日)多摩川中央公園河川清掃実施(参加者80人)	0	ふっさ環境フェスティバルの中で、市民ボランティアにより、多摩川中央公園及び付近の河川清掃を実施
	(5)漁業協同組合による学習支援	22	環境課	漁業協同組合の水辺の楽校事業への協力	水辺の楽校運営協議会の会議において学習内容を共に研究	0	漁業協同組合の水辺の楽校事業への協力

2節 都市の自然の保全・再生

施策名	取組の方向	頁	担当課	21年度の取組			計画
				内容	具体的な取組状況	決算額(円)	22年度
1.4つの自然軸の保全	(1)まとまった樹林地の公有地化	27	まちづくり計画課	新たな緑地確保について検討	緑地の(無償使用)確保	0	新たな緑地確保について検討
	(2)樹林地等の開発抑制・保全	27	まちづくり計画課	玉川上水の緑地保全の一環として、東京都景観条例により一定規模以上の建築物の建築や、土地の開発などに対して規制	東京都の規制に対して広く市民にお知らせしている。	0	玉川上水の緑地保全一環として、東京都景観条例により一定規模以上の建築物の建築や、土地の開発などに対する規制
			施設課 環境課	保存樹林地、保存樹木、保存生垣に対し奨励金を交付	保存樹林地9655.30㎡、保存樹木210本、保存生垣3,747㎡に対して奨励金を交付	保存樹林地等奨励金4,750,038	《新規》原ヶ谷戸地区緑地整備工事の実施 保存樹林地、保存樹木、保存生垣に対し奨励金を交付
2.都市の自然生態系の再生	(1)街区公園等の整備	28	施設課	公園維持工事をを行い公園の整備を行った。	公園維持修繕を行い適正な公園整備を実施	4,260,185	公園維持工事による公園の整備を実施
	(2)公園緑地での自然再生事業の展開	28	施設課	萌芽更新の実施	毎月第2日曜日の午前中に萌芽会活動実施	0	萌芽更新の実施
	(3)街中の小さな自然の創出	28	環境課	日本建築学会と福生市との「低炭素社会の理想都市実現に向けた研究」において研究	市民を交えたワークショップを実施(全3回)	0	日本建築学会と福生市との「低炭素社会の理想都市実現に向けた研究」において研究
			教育:庶務課	第六小学校のビオトープを維持	ライオンズクラブで維持保全の実施	0	第六小学校のビオトープを維持
	(4)生態系に配慮した緑の管理	29	まちづくり計画課	公園管理の中で1団体と実施	萌芽更新の会と協働にて実施	0	公園管理の中で1団体と実施
	(5)生態系の調査・研究の推進	29	環境課	多摩川カワラノギクプロジェクトの共催	多摩川カワラノギクプロジェクトの共催。カワラノギクの保全・復元及び調査等を実施(全9回)	0	多摩川カワラノギクプロジェクトの共催
	(6)自然のしくみの理解	29	環境課	市民環境大学の開催(街中の緑のあり方について学習)	緑地管理を積極的に行っている先進市を訪問し、福生市の緑地の管理の在り方を検討	市民環境大学運営委託料590,000	市民環境大学の開催
			生涯学習推進課	自然観察会の実施	春・秋の計2回、雑木林の自然観察会を開催	40,000	自然観察会の実施
	(7)学習活動支援体制の整備	29	環境課	市民環境大学、多摩川講座の開催	〇市民環境大学「緑の楽校」の実施(全6回) 〇水辺の楽校「多摩川の達人になろう講座」の実施(全4回)(再掲)	市民環境大学運営委託料590,000(再掲)	市民環境大学、多摩川講座の実施
			生涯学習推進課	史跡見学会・体験学習の開催	玉川上水等の史跡見学会を4回開催	60,000	史跡見学会・体験学習の開催
(1)萌芽更新活動への参加	29	施設課	雑木林の再生を目的とし、積極的に手を加えるという緑地保全・再生の考えのもとに、樹木伐採、下草刈、モヤワケ等の保全活動及び会議、作業、研修、学習会等の実施	毎月第2日曜日に「文化の森」を拠点に萌芽会活動実施。国分寺市西恋ヶ窪の萌芽更新を視察、支援	0	雑木林の再生を目的とし、積極的に手を加えるという緑地保全・再生の考えのもとに、樹木伐採、下草刈、モヤワケ等の保全活動及び会議、作業、研修、学習会等の実施	
(2)市民による緑の管理・自然観察会の開催	29	施設課	公園ボランティアを募集	公園ボランティアを募集し26公園を個人321名程度、5団体で実施	0	公園ボランティアを募集	
		生涯学習推進課	郷土資料室自然観察会の実施	市民事業ではないが、上記(6)の自然観察会を春・秋の2回実施	0	郷土資料室自然観察会の実施	
(3)事業所緑地の市民開放	29	まちづくり計画課	市内事業所において自主的に開放	2つの市内酒造業者が広く市民に開放している。	0	市内事業所において自主的に開放	

2章 潤い豊かな安心できるまちの創造

1節 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり

施策名	取組の方向	頁	担当課	21年度の取組			計画
				内容	具体的な取組状況	決算額(円)	22年度
1.景観まちづくり	(1)景観条例等の制定	33	まちづくり計画課	基本計画を基に各種団体との協働により、宿橋通りの景観づくりを検討			0 基本計画を基に各種団体との協働により、宿橋通りの景観づくりを検討
	(2)自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	33	環境課	玉川上水散策絵図の配布	玉川上水散策絵図の随時配布		0 玉川上水散策絵図の配布
			まちづくり計画課	「玉川上水遊歩道を考える会」及び「熊川分水に親しむ会」の2団体と活動	福生市の水の景観の保全		0 「玉川上水遊歩道を考える会」及び「熊川分水に親しむ会」の2団体と活動する。
	(3)屋外広告物の規制	33	施設課	違反屋外広告物の撤去活動を実施	32団体261名が登録。1,770枚の撤去。関係機関と福生駅から牛浜駅周辺での共同撤去を実施(5団体24人参加)		0 違反屋外広告物の撤去活動を実施
	(4)清潔で美しいまちの維持	33	環境課	廃棄物減量等推進員の活動。ごみゼロデー(町会・自治会一斉清掃)を実施	推進員による市内ごみパトロール及び町会・自治会一斉清掃の実施		0 廃棄物減量等推進員の活動。ごみゼロデー(町会・自治会一斉清掃)を実施
			施設課	ボランティアによる河川敷公園の清掃を実施。また、公園のごみ不法投棄早期除去及び看板等による美化等の呼びかけ	○6月7日多摩川河川清掃の実施 ○公園の美化活動の啓発を行った。		0 ボランティアによる河川敷公園の清掃を実施。また、公園のごみ不法投棄早期除去及び看板等による美化等の呼びかけ
			施設課	市民による環境美化活動を支援し、熊川地区の分水で清掃したごみ、砂利等を回収	6月7日市民による環境美化活動を支援し熊川分水清掃の実施		0 市民による環境美化活動を支援し、熊川地区の分水で清掃したごみ、砂利等を回収する。
(1)福生らしい景観の調査	34	まちづくり計画課	歩車共存の見地から、宿橋通りについて検討	景観連絡会と市の協働により歩車共存道の整備について進めている。		0 《新規》宿橋通り道路改修・電線共同溝工事予備設計委託	
(2)環境美化活動の展開	34	環境課	廃棄物減量等推進員による清掃活動、喫煙マナーアップ活動の実施	たばこ組合、企業、行政で喫煙マナーアップキャンペーンを実施した。(携帯灰皿1,000個、ポケットティッシュ2,000個配布)		0 廃棄物減量等推進員による清掃活動、喫煙マナーアップ活動の実施	
(3)商店街等での景観協定	34	地域振興課	16号商店街による、ごみ清掃ボランティア国・市・商店街による協定の締結実行	1月28日協定締結。国道16号線沿い歩道植樹ますにワシントンヤシ35本植樹		0 16号商店街による、ごみ清掃ボランティア国・市・商店街による協定の締結実行	
2.玉川上水などを活かしたまちづくり	(1)玉川上水沿いの遊歩道化	35	まちづくり計画課	遊歩道化実現可能区間について都へ要望	東京都及び沿道居住者に対して理解を求めた。		0 遊歩道化実現可能区間について都へ要望
			生涯学習推進課	情報収集	資料、報告書、書籍等の収集に努めた。		0 情報収集
	(2)散策路のネットワーク化	35	施設課	下の川緑地、多摩川緑地等を基軸としてこれらに結節する主要な施設との散策路のネットワーク化に向け、検討。担当する部署を検討	下の川緑地、多摩川緑地等を基軸としてこれらに結節する主要な施設との散策路のネットワーク化に向け、検討		0 下の川緑地、多摩川緑地等を基軸としてこれらに結節する主要な施設との散策路のネットワーク化に向けた検討。担当する部署を検討
				(3)熊川分水を活かすまちづくり	35	施設課	モデル地区として整備地区を精査した。担当する部署を検討
		公民館	熊川分水に親しむ会と白梅分館との共同企画により、視察と歴史学習からまちづくりと環境保全に関する理解を深める。	1コース(4回開催) 1. 柴崎分水の歴史と土木技術 2. 熊川分水探検隊(片倉跡地) 3. 写真でつづる熊川分水 4. 熊川地区水の歴史学習	50,000	熊川分水に親しむ会と白梅分館との共同企画により、視察と歴史学習からまちづくりと環境保全に関する理解を深める。	
(1)散策路ルート調査	35	環境課	玉川上水散策絵図の配布	玉川上水散策絵図の随時配布(再掲)		0 玉川上水散策絵図の配布	

2節 安心して歩ける道・都市施設の整備

施策名	取組の方向	頁	担当課	21年度の取組			計画
				内容	具体的な取組状況	決算額(円)	22年度
1.安心できる道路・都市施設の整備	(1)地域バリアフリーの推進	39	社会福祉課	バリアフリー推進計画に基づく事業の推進(拜島駅自由通路整備事業、第二市営住宅エレベーター設置工事、市道幹線Ⅱ-18号線改良事業、健康センター耐震補強等事業など)	各所管課において拜島駅自由通路整備事業、第二市営住宅エレベーター設置工事、市道幹線Ⅱ-18号線改良事業、福生野球場整備事業、市営競技場整備事業、中央図書館子ども用便所等改良工事などを実施した。	○拜島駅自由通路整備事業254,288,025 ○第二市営住宅エレベーター設置工事146,872,543 ○市道幹線Ⅱ-18号線改良事業117,400,000 ○福生野球場整備事業152,116,135 ○市営競技場整備事業81,623,269 ○中央図書館子ども用便所等改良工事1,176,000	《新規》バリアフリー推進計画の改定
	(2)緑の軸・地域バリアフリーの軸としての幹線道路の整備	39	まちづくり計画課	国、都に対し早期整備要望活動を実施	都市計画道路等を国及び都に対して要望した。		0 国、都に対し早期整備要望活動を実施

施策名	取組の方向	頁	担当課	21年度の取組			計画
				内容	具体的な取組状況	決算額(円)	22年度
1.安心できる道路・都市施設の整備	(3)中心商業地区の安全化・快適化	40	地域振興課	福生市商店街振興プランをより推進	福生市商店街振興プランの推進	0	福生市商店街振興プランをより推進
	(4)生活道路の安全化	40	施設課	安全化に向けた道路改良の推進	12路線の改良工事の実施	8,937,000	安全化に向けた道路改良の推進
	(5)道路美化ボランティア制度の導入	40	施設課	道路美化ボランティア団体を増やす。	市内の公共施設にポスターを掲示し、増員を図った。	91,000	道路美化ボランティア団体を増やす。
	(6)住宅の耐震化の促進	40	まちづくり計画課	耐震診断・耐震改修費用の一部を助成	昭和56年以前の自己所有の建物について ①耐震診断の実施(1件) ②耐震改修の助成(1件)	①耐震診断:97,000 ②耐震改修:500,000	耐震診断・耐震改修費用の一部を助成
	(1)街並みのバリア調査	40	社会福祉課	実態調査の実施	実態調査の実施	0	《新規》バリアフリーマップの作成
	(2)地域通貨等の導入	40	地域振興課	市民グループが地域通貨について研究	実施実態なし	0	今後の予定なし
	(3)商店街による取り組みの促進	40	地域振興課	商店街による装飾街路灯の点灯	装飾街路灯電気料の1/2補助の実施	1,183,752	商店街による装飾街路灯の点灯
2.緑豊かな優れた居住環境づくり	(1)住宅や事業所などの緑化	41	環境課	事業実施(市内幹線道路(歩道)へのプランター設置及びヤシの木の植樹)	○国道16号にワシントンヤシ35本植樹 ○やなぎ通りに110個のプランターを設置	プランター等設置工事 14,395,500	○保存樹林・保存樹木・保存生垣奨励金の交付(再掲) ○花いっぱい運動の実施
			まちづくり計画課	公園・緑地用地の確保及び緑化指導	一定規模以外の開発計画は、指導要綱に基づいた指導	0	公園・緑地用地の確保及び緑化指導
	(2)公共施設等の緑化	41	契約管財課	新庁舎で屋上緑化、壁面緑化、接道緑化を整備	良好な維持管理を実施	0	新庁舎で屋上緑化、壁面緑化、接道緑化を整備
			まちづくり計画課	公園についての市民アンケートを実施し、公園整備基本計画を策定	緑化率の目標値を検討した。	0	終了
	(3)農地(生産緑地)の保全・確保・活用	41	地域振興課	農地管理月間を5月・9月と定め、年2回農地パトロールを実施	5月、9月に農地パトロールを実施	0	農地管理月間を5月・9月と定め、年2回農地パトロールを実施
			環境課	市民体験農園の検討	市民体験農園の検討(22年度実施予定)	0	「市民環境大学」のメニューとして市民体験農園を実施予定
	(4)市民による公園等の維持管理の促進	42	施設課	公園等の維持管理の促進、公園ボランティアの普及活動	公園等の維持管理の促進、公園ボランティアの普及活動	0	公園等の維持管理の促進、公園ボランティアの普及活動
	(1)都市農業の継承	42	地域振興課	農業視察研修を計画し、市内の農業者等を募り研修を実施、情報収集を行う。	6月に実施(参加者21人)。研修地:横浜植物防疫所	0	農業視察研修を計画し、市内の農業者等を募り研修を実施、情報収集を行う。
	(2)まちづくりNPOの立ち上げ	42	まちづくり計画課	引き続き他の市民団体への呼びかけ	景観団体と定期的に会議を重ねた。	0	引き続き他の市民団体への呼びかけ
	(3)公園ボランティア制度による管	42	施設課	公園ボランティアの普及	公園ボランティアの普及・啓発を行った。	0	公園ボランティアの普及
(4)緑地指導の促進	42	施設課	市内造園業者の協力により、樹木剪定講習会を実施	11月14日明神下公園で福生市緑化推進協会との協働により10名の参加で実施予定であったが、雨天により中止となった。	0	市内造園業者の協力により、樹木剪定講習会を実施	

3章 暮らし方の変革・地球システムへの適合

1節 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進

施策名	取組の方向	頁	担当課	21年度の取組			計画
				内容	具体的な取組状況	決算額(円)	22年度
1.ごみの発生抑制・処理負担の適正化	(1)ごみ問題の情報提供・行動計画の策定	47	環境課	清掃だよりの充実。ごみ処理施設見学会、廃棄物減量等推進審議会の開催。廃棄物減量等推進員の活動実施	清掃だよりの作成・配布。廃棄物減量等推進審議会の開催	1,117,222	清掃だよりの充実。ごみ処理施設見学会、廃棄物減量等推進審議会の開催。廃棄物減量等推進員の活動実施
	(2)ごみを減らす生活の呼びかけ	47	環境課	レジ袋削減キャンペーンの実施	啓発用のぼり旗、懸垂幕等の作成・掲出	292,109	レジ袋削減キャンペーンの実施
	(3)排出者負担の明確化による発生抑制	47	環境課	事業者へ減量の呼びかけ	ごみカレンダー・清掃だより等による啓発活動の実施	0	事業者へ減量の呼びかけ
	(4)拡大生産者責任に基づく事業活動への呼びかけ	47	環境課	事業所に対して減量を呼びかけ	各事業所に対し事業系一般廃棄物処理計画書提出を求めた。	0	事業所に対して減量を呼びかけ
	(1)グリーンコンシューマー活動の	48	環境課	出前講座等の実施	出前講座を3回実施	0	出前講座等の実施
	(2)事業活動のグリーン化	48	環境課	事業者へごみ発生抑制研究の呼びかけ	市報等で事業者に対し物品調達に当たっては環境負荷の低減に努めるよう要請した。	0	事業者へごみ発生抑制研究の呼びかけ
2.資源化・適正処理のためのシステム構築	(1)分別による資源化・危険物等適正処理の徹底	49	環境課	ごみ分別の徹底。廃棄物減量監視事業の推進	廃棄物減量監視事業を実施	2,566,410	ごみ分別の徹底。廃棄物減量監視事業の推進
	(2)生ごみ資源化システムの構築	49	環境課	市民に対してPRを徹底	生ごみ堆肥化容器の無償貸与と事業を通じて市民にPRした。	0	市民に対してPRを徹底
	(3)枝木の資源化	49	環境課	枝木のチップ化促進	シルバー人材センターへ剪定枝堆肥化処理を委託し実施。枝葉29,930kgを堆肥化した。	598,600	枝木のチップ化促進
	(4)廃プラスチック類の利用・処理の研究	50	環境課	容器・包装プラスチックの回収日の増加	廃棄物減量等推進員会議等で回数増の理解を求めた。	0	容器・包装プラスチックの回収日の増加
	(5)地域リサイクルシステムの強化	50	環境課	拠点回収箇所の増設	拠点回収箇所増設の事業者への協力呼びかけ	0	拠点回収箇所の増設
				地域振興課	ガレージセール開催(年4回)	6月・9月・12月に実施(3月は雨のため中止)	231,000
	(6)適正な中間処理、最終処分の推進	50	環境課	東京たま広域資源循環組合でエコセメント化事業の実施。容器・包装プラスチックの資源化実施	エコセメント化事業の実施。容器・包装プラスチックの資源化実施	プラスチック資源化委託料20,313,659	東京たま広域資源循環組合でエコセメント化事業の実施。容器・包装プラスチックの資源化実施
	(1)生ごみ堆肥化に向けた学習活動	50	環境課	ごみ減量プロジェクトにて学習活動を進めた(20年度で終了)。生ごみ堆肥化容器4台を長沢地区に設置し、地域で共同使用を行った。	生ごみ堆肥化容器の無償貸与31件。家庭用生ごみ処理機購入助成25基	1,076,172	生ごみ堆肥化容器の無償貸与。家庭用生ごみ処理機購入助成
			公民館	白梅分館にたい肥化容器を設置し、会館内から発生する生ごみや落ち葉などをたい肥化し、ごみ減量化に努める。	コンポスト2台を設置。できたたい肥を食育講座で畑に施した。	0	白梅分館にたい肥化容器を設置し、会館内から発生する生ごみや落ち葉などをたい肥化し、ごみ減量化に努める。
	(2)フリーマーケット等の開催	50	地域振興課	商店街によるフリーマーケットの周知	広報、ホームページにて、毎月の開催を周知	0	商店街によるフリーマーケットの周知
(3)食品リサイクルの推進	50	環境課	食品加工業者への食品リサイクル状況調査	各事業所に対し事業系一般廃棄物処理計画書提出を求めた。	0	食品加工業者への食品リサイクル状況調査	
(4)事業所の資源回収の集団化	50	環境課	事業者へリサイクル推進の呼びかけ	各事業所に対し事業系一般廃棄物処理計画書提出を求めた。	0	事業者へリサイクル推進の呼びかけ	

2節 地球環境問題・公害への取組

施策名	取組の方向	頁	担当課	21年度の取組			計画
				内容	具体的な取組状況	決算額(円)	22年度
1.地球温暖化対策への取組	(1)地球温暖化防止対策の枠組みの明確化	54	環境課	福生市地域新エネルギービジョン、福生市地球温暖化対策実行計画の推進	○住宅用地球温暖化対策設備助成金の交付(太陽光発電システム20件、ヒートポンプ給湯器32件、潜熱回収型ガス給湯器8件、ガス発電給湯器2件、ペレットストーブ3件、合計65設備に対して助成金交付) ○環境マネジメントシステムLAS-Eの運用	○地球温暖化対策設備普及事業助成金5,020,000 ○環境マネジメントシステム支援委託料850,500 ○監査委員謝礼145,000	○福生市地域新エネルギービジョン、福生市地球温暖化対策実行計画の推進 ○《新規》環境家計簿普及事業
	(2)省エネルギー・省資源の促進、クリーンエネルギーへの転換	54	環境課	地域のCO2削減のため省エネルギー、新エネルギーなどへの転換を促進 ○地球温暖化対策設備助成制度施行 ○リサイクルセンターに太陽光発電設備を設置	○住宅用地球温暖化対策設備助成金の交付(太陽光発電システム20件、ヒートポンプ給湯器32件、潜熱回収型ガス給湯器8件、ガス発電給湯器2件、ペレットストーブ3件、合計65設備に対して助成金交付)(再掲) ○リサイクルセンターに太陽光発電設備を設置(パネル56枚10kw設置)	○地球温暖化対策設備普及事業助成金5,020,000(再掲) ○リサイクルセンター太陽光発電設備設置事業費13,230,000	地域のCO2削減のため省エネルギー、新エネルギーなどへの転換を促進 ○地球温暖化対策設備助成金の交付(住宅用) ○《新規》地球温暖化対策設備助成金の交付(事業所用)

施策名	取組の方向	頁	担当課	21年度の取組			計画	
				内容	具体的な取組状況	決算額(円)	22年度	
1.地球温暖化対策への取組	(2)省エネルギー・省資源の促進、クリーンエネルギーへの転換	54	契約管財課	新庁舎で太陽光発電、地熱利用、コジェネ、屋上緑化、雨水再利用などを実施	○太陽光発電量 10,380kWh/年 ○コージェネ発電量 246,207kWh/年 ○雨水使用料 776m ³ /年	0	新庁舎で太陽光発電、地熱利用、コジェネ、屋上緑化、雨水再利用などを実施	
			介護福祉課・福祉センター	太陽熱温水器等の利用	太陽熱温水器を利用し、福祉センターで入浴サービスを実施	0	太陽熱温水器等の利用	
			施設課	街路灯等のLED化を推進	やなぎ通り26基、加美立体通り25基をLEDに変更	38,115,000	街路灯等のLED化を推進	
	(3)自動車公害対策・低公害型自動車の普及	54	環境課、契約管財課	公用車の低公害車への更新を促進。市役所におけるノーマイカーデー・公用車利用抑制の実施。省エネカーの購入	○旧公用車4台廃棄 ○ハイブリット車3台購入 ○公用自転車の利用を促進 ○毎月第1・2木曜日ノーマイカーデーの実施	10,425,190	0	公用車の低公害車への更新を促進。市役所におけるノーマイカーデー・公用車利用抑制の実施
	(4)自転車のまちづくり	55	環境課	日本建築学会と福生市との「低炭素社会の理想都市実現に向けた研究」において研究	市民を交えたワークショップを実施(全3回)	0	0	日本建築学会と福生市との「低炭素社会の理想都市実現に向けた研究」において研究
	(5)公共交通機関の利用促進	55	企画調整課	JRを含む公共交通機関の利用促進のための利便性向上に向けて、関係する協議会等を通じて要請	JRへの要望活動(5回)	115,000	0	JRを含む公共交通機関の利用促進のための利便性向上に向けて、関係する協議会等を通じて要請
	(1)地球温暖化防止等の活動展開	55	環境課	環境フォーラムの開催。福生スクラム・マイナス50%事業の展開	福生環境フォーラム、ふっさライトダウンキャンペーン2009(全2回)、ふっさキャンドルナイトキャンペーン2009冬～Rainbows Are Round～、ふっさエコ・チャレンジ！家計簿コンテスト、緑のカーテン大作戦の実施	(みどり東京補助事業)	0	環境フォーラムの開催。福生スクラム・マイナス50%事業の展開
(2)省エネルギー・新エネルギー機器の普及活動	55	環境課	環境フェスティバルにおける普及・啓発。福生スクラム・マイナス50%事業の展開(ライトダウンキャンペーン、緑のカーテン等)	環境フェスティバル、福生環境フォーラム、ふっさライトダウンキャンペーン2009(全2回)、ふっさキャンドルナイトキャンペーン2009冬～Rainbows Are Round～、ふっさエコ・チャレンジ！家計簿コンテスト、緑のカーテン大作戦の実施	環境フェスティバル委託料 1,100,000(環境フェスティバル以外は、みどり東京補助事業)	0	環境フェスティバルにおける普及・啓発。福生スクラム・マイナス50%事業の展開(ライトダウンキャンペーン、緑のカーテン等)	
2.公害防止・有害化学物質対策	(1)公害防止対策の推進	56	環境課	各種分析委託、各種苦情処理、航空機騒音測定器入替え	○多摩川及び都市下水道で定期的な測定調査分析を実施(年8回7箇所)(再掲) ○各種苦情処理215件 ○航空機騒音測定装置購入	○各種分析委託料 2,097,900(再掲) ○航空機騒音測定装置購入 6,930,000	0	各種分析委託、各種苦情処理、航空機騒音測定器入替え
	(2)有害化学物質対策の推進	56	環境課	都環境確保条例に基づき報告を指導するとともに、適正管理を要請	市内4事業所から報告書の提出を指導するとともに、適正管理について要請した。	0	0	都環境確保条例に基づき報告を指導するとともに、適正管理を要請
	(1)有害化学物質情報等の提供	57	環境課	アスベスト除去やその他有害化学物質の発生・発見については、速やかな情報収集・提供・報告等を実施	広報、ホームページに掲載し情報提供、報告を実施した。	0	0	アスベスト除去やその他有害化学物質の発生・発見については、速やかな情報収集・提供・報告等を実施

計画の推進・環境まちづくりの展開

施策名	取組の方向	頁	担当課	21年度の取組			計画
				内容	具体的な取組状況	決算額(円)	22年度
1.環境教育・学習の推進	(1)学校における環境教育の推進	62	環境課	環境学習教員研修の実施。ごみ処理施設見学会の実施	○環境学習教員研修の実施(全4回、参加者(延べ人数)56人参加) ○ごみ処理施設見学会(福生市リサイクルセンター・日の出町二ツ塚広域処分場(8月・参加者11人、3月・参加者25人))	環境学習教員研修講師謝礼67,000	環境学習教員研修の実施。ごみ処理施設見学会の実施
			指導室	環境課の教員研修事業を支援。理科支援員の配置。学習指導市民講師による指導	○福生市教職員研修環境教育研修会(環境課)の開催(8/3、4(参加者11名) 8/17、18(参加者17人)) ○理科支援員 第六小学校に2名配置(延べ51回) ○学習指導市民講師(NPO法人自然環境アカデミー)による指導(計15回)	○理科支援員279,410 ○学習指導員市民講師45,000	環境課の教員研修事業を支援。理科支援員の配置。学習指導市民講師による指導
	(2)地域・市民の環境学習の推進	63	環境課	市民環境大学の実施。福生エネルギー市民会議の開催	○市民環境大学“緑の楽校”の開催(全6回) ○福生エネルギー市民会議の開催(全6回)	市民環境大学運営委託590,000(再掲)	市民環境大学の実施。福生エネルギー市民会議の開催
			公民館	夏休み自然体験教室の実施	1コース6回 延べ参加者数62人	209,200	夏休み自然体験教室の実施
			公民館	地方自治講座の一環として環境学習を推進	福生のまちを観察し、環境について学習を進めた。1回10人	20,000	地方自治講座の一環として環境学習を推進
2.パートナーシップの確立	(1)市民による環境まちづくり活動への支援	64	環境課	環境フェスティバル、花いっぱい運動の実施。各種市民会議への支援	○ふっさ環境フェスティバルの実施(出展団体37団体。来場者3,500人) ○花いっぱい運動の実施(春・秋年2回)	環境フェスティバル委託料1,100,000(再掲)	環境フェスティバルの開催、花いっぱい運動の実施。各種市民会議への支援
			環境課	地域ネコ制度実施(去勢・不妊手術への助成)	地域ネコ制度による去勢・不妊手術費の一部を助成(オス25匹、メス27匹、計52匹)	地域猫去勢・不妊手術費助成金499,000	地域ネコ制度実施(去勢・不妊手術への助成)
			施設課	萌芽更新の実施	毎月第2日曜日の午前中に萌芽会活動実施	0	萌芽更新の実施
			まちづくり計画課	景観条例による市民活動への支援	景観形成の取り組みとして、具体的な道路形成の計画(宿橋通り)	0	景観条例による市民活動への支援
	(2)市の政策決定・事業における市民参加の促進	65	企画調整課	各種施策に市民が積極的に参加できるよう施策の策定段階において担当課に依頼	市民参加ができるよう各施策の所管課で実施している。	0	各種施策に市民が積極的に参加できるよう施策の策定段階において担当課に依頼
			協働推進課・各課	・輝き市民サポートセンターの運営の充実 ・協働推進体制の強化 ・市民参画・参加の機会の拡充	・ネットワーク懇談会の開催年5回 ・75の協働事業を実施 ・市政出前講座の実施(23回 782人参加) ・市民活動災害補償制度の実施	7,246,076	・輝き市民サポートセンターの運営の充実 ・協働推進体制の強化 ・市民参画・参加の機会の拡充
3.計画推進体制の確立	(1)環境情報の収集・提供	67	環境課	かんきょう通信、福生市環境白書を発行。湧水調査報告書を頒布	○かんきょう通信の発行(年2回) ○福生市環境白書「福生市の環境平成20年度版」の発行 ○湧水調査報告書の頒布(2冊)	○かんきょう通信印刷製本費249,690 ○配布委託委託料191,823 ○調査報告書頒布代(歳入)540(270×2冊)(再掲)	かんきょう通信、福生市環境白書を発行。湧水調査報告書を頒布
	(2)(仮称)福生環境ネットワークの設置・支援	67	環境課	ネットワーク化の研究	環境基本計画改定市民会議の中で検討(LAS-Eに環境基本計画の進捗状況を点検するしくみを加える方向で検討)	0	ネットワーク化の研究
	(3)環境審議会の開催	67	環境課	環境基本計画の取組み状況について評価	福生市環境基本計画実行計画(平成21～23年度)について、環境審議会を実施(1回)	環境審議会委員報酬68,000	環境基本計画の取組み状況について評価。
	(4)実施状況の公表	67	環境課	福生市環境白書の見直し、発行	福生市環境白書「福生市の環境」の見直し、発行	0	福生市環境白書の見直し、発行
	(5)事業所としての率先行動の推進	67	環境課	環境マネジメントシステム(LAS-E)の実施	平成20年度に引き続き、環境マネジメントシステム(LAS-E)を運用。市民参加による監査を受けた(2月・6月)	○環境マネジメントシステム支援委託850,500 ○監査委員謝礼145,000	環境マネジメントシステム(LAS-E)の実施